

立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム

2019年度第1回セミナー開催

立命館大学は、社会とつながりながら未知の課題へ挑戦しイノベーション創出をリードする超創人財を育成することを目的とした5年一貫博士課程教育「超創人財育成プログラム」を実施しております。そのプログラムを支援することを目的とした、産学官地37団体（企業および自治体）が加盟する「立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム」の会員向け事業として、7月5日に第1回セミナーを開催いたしました。

本セミナーは、『アクティブライフ』すなわちあらゆる人が健康的で前向きに活動できる生活の創出に関わる「健康」や「ICT」等を各回テーマに取り上げ、内外の実務経験者や研究者を講師に迎え実施いたします。

今年度第1回となる本セミナーでは、「腸活」というワードがトレンドになっている点に注目し、「脳を越える！？第2の司令塔“腸”」と題して、食マネジメント学部教授増山律子より腸の役割や機能について、「100年人生健康長寿ここまできた腸内フローラの世界」と題して、森永乳業株式会社古田雄一郎氏より、全身の健康の要とも言える腸内フローラについてご講演頂きました。

グループワークでは、超創人財育成プログラムの受講生をはじめとする学生たちも多く参加し、会員と交流を深める貴重な機会となりました。

本コンソーシアムでは、各種事業を通じて会員と学生が交わることによる超創人財育成の推進と、会員同士の連携や本学が保有する研究シーズ等とのマッチングによるイノベーション創出を支援してまいります。



以上